

いちから
わかる!



ろうきゅうか
水道管の老朽化
止まらないの？

A6220

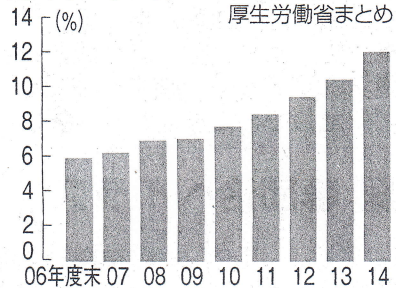
水道事業の主な課題

- **水道の老朽化**
耐用年数(40年)を超えた水道管の割合は12.1%。更新率はわずか0.76%(14年度)
- **人口減に伴う水需要の減少**
2060年には現状より水需要が約4割減。水道料金収入が激減
- **職員数の減少**
団塊世代の退職などで、職員数は30年前より約3割減。技術の継承が困難



破損箇所から水を噴き上げる水道管(14年、大分県佐伯市)

耐用年数(40年)超えの水道管の割合



「老朽」水道管の割合が高い府県

府県	割合 (%)
1 大阪府	27.2%
2 神奈川県	21.4%
3 山口県	19.4%
4 奈良県	17.5%
5 香川県	16.9%
6 静岡県	15.5%
7 島根県	15.4%
8 徳島県	15.0%

40年超が1割。財源・人手不足で更新が追いついていない

コブク郎 水道管の老朽化が止まらないんだって？

A 飲み水を供給する水道事業は主に市町村が担い、2014年度末の国内総延長は約66万163キロで、普及率も97.8%。高

度経済成長期の1960、70年代に整備が進み、78年に普及率が9割に達した。法定耐用年数の40年を超える水道管が急増する時期を今まさに迎えているんだ。

のくらいあるの？

A 06年度末は全体の6%だったが、13年度末は10.5%と初めて1割を超え、14年度末は12.1%。老朽化に更新のスピードが追いついていないんだ。

コ それは大変だ！

A 更新された水道管は14年度で全体の0.76%。このままだと「老朽」水道管は44年度に58%を占めると予測されている。一方、水漏れなどのトラブルは14年度に約2万2千件発生した。重要な管(基幹管路)の耐震化率は36%にすぎず、大規模災害で長期的な断水につながりかねない。

源確保が難しい。水道料金の値上げは住民の反対が予想され、多くの事業者が及び腰なんだ。もう一つ、水道職員の不足も深刻だ。80年代から3割も減り、職員3人以下の事業体も少なくない。慢性的な人手不足で技術継承もままならない。

コ 改善が必要だね。

A まずは費用の問題。人口減や節水機器の普及などによる料金収入減で、財

A 厚生労働省の専門委員会が対策を検討し、複数の市町村で事業を管理する「広域連携」を進めることや、更新費用を水道料金に盛り込むよう促すことを提言した。それを踏まえ、厚労省は水道法改正案を来年の通常国会にも提出する予定だ。水道は暮らしに欠かせないだけに、住民の理解が得られるようしっかりと説明して、対策をすすめてほしいね。

(黒田壮吉)